

平成 15 年 11 月 10 日 午後 7～9 時

場所：札幌市環境プラザ

第 3 回懇談会 会議録

市より以下についての報告・説明を行い、随時、意見交換を行った。参加人数は 36 名。

1 これまでの懇談会の経過についてのおさらい

7 月 23 日、10 月 2 日に行われた第 1 回、第 2 回懇談会の内容についておさらい（配布資料 1）、および環境プラザ運営の考え方（案）について、再度説明をした（配布資料 2）。

2 環境プラザ展示物の現在の課題と、それに関する提案（配布資料 3）

(1) 展示物をつくるにあたってのコンセプト

視覚や感情・感性に訴えることで子供たちにもインパクトを与える展示、身近なすぐ理解できるところから入る展示、調べ学習やディスカッションが必要な（答えは用意しない）展示物とした。

(2) 現展示物の課題および意見

環境プラザのオープンから約 2 ヶ月が経過した。その間の来館者の反応や寄せられた意見から、以下の課題があげられる。

来館者が実際に触ったり、感じたり、参加する展示物が少ない。

展示物の内容や説明が不足しているため、何を言いたいのかがわからない（ディスカッションが必要になる、答えを用意しないというコンセプトであるが、来館者に疑問を持たせたり、考えさせるまで至っていない）。

子供がすぐに入っていけるような分かりやすい展示が少ない（展示のコンセプトの違いはあるが、隣接する消費者センターのパソコンによるクイズは、その入り込みやすさと全問正解で証書をもらえるという達成感・征服感もあって子供たちによく利用されている）。

札幌の自然を感じられる展示物が少ない。札幌の自然環境を展示するマップがほしい。

環境保全のために具体的に何を行動したらいいのかがわからない。

(3) 展示物発展のための企画・作成委員会「つくるーん（仮称）」の提案

上記の課題・意見をふまえ、今後環境プラザの展示物をどう発展させるか（どのように展示し、何を伝えるか等）の話し合いや製作などをしていく委員会を設けたいと考えている。ただし、現展示物を大々的に作り直すことはできない。手づくりで展示をつくっていききたい。

とりあえずは、平成 16 年 3 月まで、月 1 回程度の頻度で委員会を開きたいと考えている。

3 意見交換

参加者（市民）からの意見	市の意見
<p>展示に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに小学生，中学生がどのくらい訪れたか。その子供たちは展示物を見て，どんな反応を示したか。 ・ 札幌市の環境を紙ベースのデータではなく，簡単にパソコン等で検索できるようにしたらどうか。 ・ 屋上を使つての展示（コンポストやビオトープ等）はできないか。 ・ 「つくるーん」の予算はどのくらいか。 ・ 元気活動プロポーザル事業（ 1）を活用し，「つくるーん」の予算にあてたらどうか。 1 札幌市市民局で行っている事業。市民の創意工夫を生かしたまちを元気にする活動について企画案を募り，この中から公益性や効果の高い事業を提案した団体とその事業について委託契約を締結して実施する（委託費は 40 万円もしくは 60 万円。事業内容により異なる）。 ・ 「つくるーん」はどのように進めていくのか。人それぞれで参加できる時間帯は異なる。「つくるーん」昼の部・夜の部など分けたらどうか。 ・ 「つくるーん」昼の部・夜の部に分かれる場合，意見を共有したい。取りまとめ役なども必要になると思う。それについても話し合ったらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 1 日のオープンから 10 月末までに，小学校 3 校，中学校 11 校が総合学習で利用した。環境問題を日常生活と結びつけて説明することで興味を持たせている。しかし，子供たちに体験してもらい，感性に訴えかけるような部分に関しては充分に対応できていない。 ・ 環境プラザのホームページにそういった入力・検索ができるシステムを用意している。しかし，データはまだ揃っていない。 ・ 屋上はエルプラザ全体の所有地であり，市の一存では決められない。どういったことを行うのか，それによる副次的な問題はないかを具体的に考慮し，話し合う必要がある。 ・ もともと予定していた事業ではないので，予算はついていない。 ・ プロポーザル事業を活用した場合，利用を考えている団体等の枠をひとつ奪ってしまうことになる。今回の「つくるーん」は市が提案した事業ということもあり，プロポーザル事業の予算を使用することは適さないと考える。 ・ 参加者にはアイデアを出してもらおうと同時に，具体的に検討し，実現するところまで責任をもって参加してほしい。2 班に分けて進めるかどうかについては，今後「つくるーん」の中で検討したい。まずは一度「つくるーん」の会を開きたいと思う。

参加者（市民）からの意見	市の意見
<p>懇談会開催の周知について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第2回懇談会で指摘されたように、今回の開催にあたってはチラシを各区役所に置くなど、できるだけ広報したが、効果については疑問がある。周知の方法はやはり大きな課題である。参加者の皆様に御協力いただきたい。
<p>懇談会の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇談会の事務局を市民と協力して行ったらどうか。懇談会の周知に関する苦勞を市と市民で分かち合えるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> それもひとつの方向だと思う。懇談会のリーダーシップを市民が取り、進めていくこともありえる。これについては今後市民が協力していけるのか検討していきたい。
<p>環境プラザの利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の関係上、平日に展示コーナーを見ることができない。現在の開館時間（9時～17時15分）を変更することはありえるのか。 環境プラザ利用の年齢層およびその人数について教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズとそれにかかる費用の兼ね合いによる。現時点では開館時間の変更は考えていないが、ニーズがあれば検討したい。 参考意見 リサイクルプラザは19時まで開館しているが、18～19時の利用はほとんどない。費用対効果を考える必要があり、現在来館者にアンケートしている。 環境プラザはサタデーテーリング（2）のスタンプポイントになっており、毎土曜日に約100人の子供たちが来館している。平日、総合学習以外での子供の利用はほとんどない。大人は一日に20～30人であり、事業者も来館している。 2 札幌市交通局の実施する小学生向けスタンプラリー
<p>第4回懇談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回の懇談会の開催日および話題について。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回は平成16年1月15日(木)に開催する。話題は環境プラザの運営について。実際にNPO等に委託している例を紹介したい。

参加者（市民）からの意見	市の意見
<p>要望・提案</p> <p>展示および「つくるーん」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示コーナーだけがすべてではない。例えば、トイレの便座に使われている暖房など、エルプラザの建物全体で環境について学べるようにすればいいと思う。 ・ 定期的に簡単なツアーのようなものを行ったらどうか。例えばエルプラザ内などで、環境に関する設備を紹介してまわったりする。 ・ ふれあいや子供たちの反応を大事にするために、訪れる子供たちには人が直に説明する等の対応をしてほしい。 ・ どういった展示物がいいのか、子供たちに聞いてみる。または子供たちに「つくるーん」に直接参加してもらうのはどうか。 ・ 子供たちが学校の授業等で作成した発表物をプラザの一角に展示したらどうか。 ・ 子供たちに環境プラザの展示物の解説員になってもらうのはどうか。 ・ 環境活動をしている市民が、それぞれの活動分野に関わる展示物を用いてプレゼンテーションをするのはどうか。 ・ サタデーテーリングの子供を対象に、土曜日に各市民団体が順番にイベントなどを行ったらどうか。 ・ 札幌市における自然の状態を示すパネルや映像があるといいと思う。 ・ 市民積み上げ型の環境情報マップを常設したらどうか。 ・ 札幌市内外の学校で取り組んでいる環境活動の情報を発信したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この他にも様々な意見を市民の皆様からいただいております。今後の課題として検討していきたい。また、アイデアとして「つくるーん」の会議の中で参考にさせていただきたい。